



## 町上水道設置amaru

町才四回定例議会

去る十二月十七日から二十五日まで九日間の会期で開かれ、議案十七件、陳情十五件が審議された結果は次のとおりであった。

○始良町林野管理条例全文改正の件について従来の管理条例に不備の点があつたのでこの際合理的に改正を行つたもので可決

○始良町部分林条例制定の件 管理条例の改正に伴い又分収率等の決定を行うために改正されたもので従来の四分六分の均一分収率を状況に応じて決定されるよう改訂された。 可決

○始良町消防団員条例の一部を改正する条例の件 今度役場職員を消防団員とする本部消防車が配置されたのでこのための改正で原案可決

○消防団設置条例の一部を改正する条例の件 前議案で团の変更があつたのでこれによる区域の変更をせねばならぬようになつたので改訂されたもの 原案可決

○鹿児島県旧市町村職員恩給組合 資産管理組合規約の一部改正の件 組合加入者の名称の変更があつたので名称の変更を認めて貰いたいというもので 原案可決

○昭和三八年度始良町一般会計才水人口一三〇〇人を目標とし

入才出決算認定の件 ○昭和三八年度特別会計国民健康保険事業勘定才入才出決算認定の件 ○昭和三八年度特別会計簡易水道才入才出決算認定の件 認定の件 ○昭和三八年度特別会計簡易水道の件 ○昭和三九年度一般会計補正予算の件 財源は借債が一億二千七百万円、一般財源が一千五百拾万円となって補助金は此の事業についてはあります。可決

○昭和三九年度特別会計（國保事業勘定）補正予算の件 ○昭和三九年度特別会計（國保事業勘定）補正予算の件 ○昭和三九年度特別会計簡易水道補正予算の件 補正予算の件

以上四件の補正予算については原案どおり決定を見たのであるが一般会計中壹千貳百万円の内、主な支出は学校教員住宅二棟分の貳百四拾万円、自動車試験関係の予算約五百万円、耕地地整理地区（高棚）の排水路工事約八拾万円等が主な支出となつて居ります。

特別会計国保事業勘定補正額貳六万円はほとんど療養給付費の追加であります。特別会計施設勘定の補正は医業費の補止であります特別会計簡易水道の分は水源地見提案されたもので、その規模は給水人口一三〇〇人を目標とし

入才出決算認定の件 ○昭和三八年度特別会計国民健康保険事業勘定才入才出決算認定の件 ○昭和三九年度一般会計補正予算の件 聴元、平松（城瀬、触田、上水流森山、城下を除く）、船津（春花を除く）という地域が現在の給水区域である。

水区域は現在の計画では山田地区  
下名、大山（中川原を除く）帖  
佐地区＝東餅田、西餅田、鍋倉、

## 一今年の共同募金実績

歳末助け合い実績  
や、重富小学校の「よい子ども」と共におよろこびいたします。  
のお金は早速県の共同募金会で、おさめることができました。  
と申します。昨年度は町内の保育園等に  
していただいた、ご協力くださいましたので、たいへんりっぱな成  
れでござります。今年の募金実績は別表のとおり

の運動は、毎年、みんなの温心にうつたえて、お気の毒なを慰め励げます資金を募集します。年は、小組長さんと婦人会が協力し合って募金していくきましたので、たいへんりつ成績でした。皆様と共に、お募金実績は次のとおりです。

年は、よろこびいたします。このお金は町内から長期間にわたって療養生活をよぎなくされている患者さんや養老院で生活されるおとしより二百名と生活の苦しい家庭八百余名に贈りました。きっと感謝して

## 歳末二つの善行

お正月にお餅をたべられない暮らし。  
い人たちもいつしょにこの餅をたべて正月を祝いましょうと子どもたちが話し合って持ち寄ったもの

福社協議会では先生方とも話し合って適正な配分をしました。ありがとうございました。喜んであります。

## 役場職員を団員に 専務出席認め式

消  
防  
出  
毛  
立

例の出そめ式は一月十一日山学校で、来賓一般多數の出席せいで天をくもらした壯觀は力強さを感じました。表彰状授与は主

て盛んでした。

年は特に役場職員十四名を団  
われ、県知事代理の祝詞をはじめ

妻ひくひ近代装備の消防多姿の扱いを受けた。最後に消防

する二歳になりました。当時までそれを解散しました。

明けから雪雨に笑風もあつて  
表章者は次のとおり

卷之二

の観閲分列式、通常点検、ボ  
三叉分団長  
三月田末治

新潟より江戸に赴き、其の美技を立林分田長に見聞し、金里

来賓をはじめ一般の盛んな拍手  
優良分団 三叉分団

ういたゞとくに新入の役場本

できまえで他の團員の盛んな  
大山分團班長  
春男

をうけた。放水演習は中学校 平松分団員 大平 茂

卷之三

募集中  
**中 學 新 卒 者 入 所 希 望 者**

または、これと同等以上の学力を有し、新らしく技能を身に付けて、就職へ向う二十六卒業